

授業科目名：道徳の理論・指導法（初等）	教員の免許状取得のための必修科目	単位数：2	担当教員名：大隅心平 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭としての勤務経験をもつ教員が、道徳教育・道徳科における理論及び指導計画の作成や学習指導案の作成について指導する。		
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（小学校）		
施行規則に定める科目区分又は事項等	道徳の理論及び指導法		
「学位授与の方針」との関係			
星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。			
A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。			
C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。			
E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。			
F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導方法を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。			
（１）道徳教育の理論			
１）道徳教育とは何かを説明できるとともに、道徳教育の歴史やいじめ、情報モラル等現代社会における道徳教育の課題を理解している。			
２）子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。			
３）学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。			
（２）道徳の指導法			
１）学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解している。			
２）道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。			
３）道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業を設計することができる。			
４）授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。			

- 5) 道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。
- 6) 資料の分析や 学習指導案の作成、模擬授業を通して授業の構想や改善の視点を身に付けている。

授業の概要

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育とその要としての道徳科の目標や内容について理解するとともに、道徳科における指導計画や多様な指導法について理解し、教材研究や模擬授業を通して実践的な指導力を身に付けることができるようにする。

授業計画

- 第1回：授業の目標と計画。道徳と道徳性の育成
- 第2回：道徳教育の歴史と学校教育における道徳教育の課題
- 第3回：学習指導要領と道徳教育の計画
- 第4回：道徳性発達の理論と道徳教育
- 第5回：学校における道徳教育の指導計画と教育活動全体を通じた指導
- 第6回：道徳科の基本方針と多様な指導方法
- 第7回：道徳科の指導と評価
- 第8回：道徳科の資料分析と指導過程
- 第9回：道徳科の内容構成の視点と重点化、授業設計
- 第10回：道徳科における問題解決的な学習と体験的な学習
- 第11回：道徳科の学習指導案の作成(1)－主題の設定、ねらいと発問、学習指導過程－
- 第12回：道徳科の学習指導案の作成(2)－学習活動と評価、教材の類型と活用－
- 第13回：模擬授業の実施と授業改善の視点(1)－教材内容の視点から－
- 第14回：模擬授業の実施と授業改善の視点(2)－授業展開の視点から－
- 第15回：「考え、議論する道徳」と学級経営

定期試験

スクーリングでの学修内容

当日配布する資料をもとに、道徳教育及び道徳科の意義や学習内容、指導過程や評価について学ぶとともに、教材分析に関するグループワークを通して効果的な授業づくりについて考える。

受講にあたっては、選択した教材の授業プランを作成し、事前に提出する。事前学修は道徳科の教材にふれることを目的としており、教材は各自で選択する。授業プランは、どのような授業をしたいかなど授業の概要でよい。学修の進行状況によっては選択した教材に関する主な「発問」を複数考えることでもよい。

教科書

- (1) 文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編」廣済堂あかつき
- (2) 文部科学省「小学校学習指導要領解説 総則編」東洋館出版社

参考資料

- (1) 文部科学省『「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)』平成28年(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/111/houkoku/1375479.htm)
- (2) 柳沼 良太『道徳の理論と指導法』図書文化 2017 年
- (3) 林 泰成『道徳教育の指導法』左右社 2018 年
- (4) 荒木 寿友『ゼロから学べる道徳科授業づくり』明治図書 2017 年

学生に対する評価

スクーリング評価（２５％）、レポート評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。科目修得試験にはスクーリングの事前学習提出物を含む。